

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
広陵町	広陵町立真美ヶ丘第一小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

《地域の教育力の活用》

- ・地域の教育力をひき出し、活用する。

《学校を知ってもらう》

- ・学校の取組への参加協力、児童・職員との交流

2 特徴的な取組の概要

(1) 昔遊びを楽しもうの会（第1学年）



「地域の方に昔からある遊びを教えていただき、地域の方との交流を楽しみ、昔の遊びに慣れ親しむ」ことをねらいとして、「昔遊びを楽しもうの会」に取り組んだ。当日は、名人さんをお迎えして、「紙ひこうき」「お手玉」「あやとり」「おはじき」「こま」「けん玉」などの昔遊びを教えていただいた。児童はグループで移動し、それぞれの遊びを順に楽しんだ。

また、お礼と発表の意味を込めて、国語科の「かぐやひめ」の学習で取り組んだ歌「かぐやひめ」を合唱したり、自作の「かぐやひめのカルタ」を紹介し、カルタ取りを楽しんだりして交流を行った。

(2) お茶体験（第5学年）



「地域の方に茶道の作法や心づかいについて教えていただくことで、地域の方とのつながりを深めるとともに、日本の伝統的な文化にふれる」ことをねらいとしてお茶体験学習を行った。まず、お茶やお菓子のいただき方、お茶の出し方、空になった茶器の下げ方などの作法を教えていただきながら、もてなす側ともてなしを受ける側に分かれて順次それぞれの体験をした。

さらに、自分でお茶を立てて、それをいただくという体験もした。また、茶道の所作を学ぶだけでなく、相手をもてなす心や周りの人に対する思いやりの気持ち、物を大事に扱う心の大切さなどについても教えていただき、我が国の伝統的な文化にふれることができた貴重な時間となった。